

ひことひら

第60号

令和7年11月

議会だより

9月議会



統合小学校及び統合認定こども園（仮称）の建設予定地で
発掘された遺跡は『うだてんじんいせき苗田天神遺跡』と名付けられた。

令和7年

9月

定例会

9月5日(22日)の18日間開催しました。令和6年度決算、令和7年度補正予算など15議案について審議し、すべて可決されました。

総務産業経済常任委員会

琴平町公益的法人等への職員派遣等に関する条例の一部を改正する条例

(説明) 任意団体だった琴平町観光協会が「一般社団法人こんびら観光まちづくり協会」として法人化されたことから、条例第2条に追加する。

問 メリットは。

答 職員派遣によって情報共有や連携が深まるメリットがある。

新規就農総合支援事業

150万円

(説明) 新規就農者の経営開始資金。国からの全額補助。

問 予定件数は。

答 今回は1名分。県が審査し、認定通知が来てからの予算計上になる。

西駐車場内通路設置工事費等

386万円

(説明) 町営駅前西・東駐車場の自動化に伴う工事。料金所、トイレの撤去および西駐車場に自転車通路確保の工事。

問 工事期間および撤去後、自動開閉機の本体設置工事はい

つから。

答 駐車場閉鎖期間は、設置完了までを含めて11月末までを

予定。遅くとも年内には完了予定。

教育厚生常任委員会

食品アクセス総合対策事業補助金

300万円

(説明) 経済的困窮者を支援するための体制づくりに向けて、国からの全額補助で、社会福祉協議会に事業委託。

問 事業について詳しく。

答 社協が現状調査や食支援ネットワークへの聞き取りなどをを行い、フードバンクや子ども食堂などの需要と供給を調査をする。今年度は調査のみ。



犬及び猫の不妊・去勢手術補助金

40万円

(説明) 町内に飼い主がいない猫が多く、個人が実施するTNR活動(捕獲、不妊、元の場所に戻す)を継続的かつ早期に行うことが効果的である。

問 令和6年度の実績は。

答 犬4匹、猫65匹、予算は20万7千円。今年度は、補正予算で対応可能。県全体で増えており、県を挙げて取り組んでいる。

3小学校の音楽室空調設置

514万円

(説明) 大きな特別教室にエアコン設置。

問 小学校統合後は。

答 総合センターや中学校の武道館に移築する予定。

決算審査特別委員会

総務課

問 統合小学校や庁舎改修に向け、財政が本当に厳しい。しっかりと説明できるように。

答 2週間に一度、国交省・総務省等の若手職員と意見交換し、制度・補助金の活用を検討している。

農政課

問 農業機械導入の補助活用状況は。

答 令和5年度は個人でトラクタ1台購入（県補助活用）、令和6年度は営農集団で農業機械1台購入。

税務課

問 町民税が対前年度より6.4%減の要因は。

答 定額減税と考える。

観光商工課

問 琴平町観光協会誘致宣伝事業補助金225万円とは。

答 PRのためのチラシ、パンフレット（外国語版含む）の作成、ホームページ更新・維持管理に充てられている。

住民福祉課

問 敬老会をやめたことに反対。地域づくり懇談会等でも様々な意見を頂戴し、婦人会や社協とも相談し、判断している。

問 介護保険給付費の減少の要因は。

答 介護予防事業の効果が表れている。

子ども・保健課

問 特定検診の受診率が下がっているが。

答 現状、45%程度。若い方への促進もかねて、体組成計（インボディ）を活用し、自己管理や受診につなげたい。

議案の審議結果

令和7年9月定例会

○全会一致で可決した議案

議案番号	議案名	賛成	反対	採決結果
2	令和6年度 琴平町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認
3	令和6年度 琴平町駐車場特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認
4	令和6年度 琴平町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認
5	令和6年度 琴平町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認
6	令和6年度 琴平町温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9	0	認
7	令和6年度 琴平町公共下水道事業会計決算の認定について	9	0	認
8	令和7年度 琴平町一般会計補正予算（第4号）	9	0	可

議案番号	議案名	賛成	反対	採決結果
9	令和7年度 琴平町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	9	0	可
10	令和7年度 琴平町駐車場特別会計補正予算（第1号）	9	0	可
11	令和7年度 琴平町介護保険特別会計補正予算（第1号）	9	0	可
12	令和7年度 琴平町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	9	0	可
13	令和7年度 琴平町温泉事業特別会計補正予算（第1号）	9	0	可
14	琴平町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	9	0	可
発議1	議員派遣の件	9	0	可

※ 認…認定 可…可決

○賛否が分かれた議案

議案番号	議案名	賛成	反対	採決結果	渡辺	寺岡	堀家	別所	吉田	豊嶋	森藤	山下	眞鍋	山神	議決月日
1	令和6年度 琴平町一般会計歳入歳出決算の認定について	7	2	認	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	9/22

※ 認…認定

※ ○…賛成 ×…反対 —…議長（議長は可否同数の場合のみ表決権があります。）

8月

委員会

レポート

総務産業経常任委員会

問 こんぴら歌舞伎終了後の関係者との反省会や意見交換会は。

答 全課にヒアリングし、課内で協議した。今後どのように改善していくか考えている。



問 今年度の危険老朽空家除去は。

答 昨年度からの予約分と今年度の予定数10件分は、すでに交付決定している。

教育厚生常任委員会

問 現業職員への空調服支給は。令和8年度の当初予算で計上予定。

問 町内におけるはしかなど感染症の状況は。

答 県内の感染状況は毎週木曜日に届く。今は特段なし。

問 地域おこし協力隊として外国語指導助手（ALT）の採用は。

答 それも含めて検討していく。

問 大せんだんの今後の保存利用は。

答 大せんだん保存活用有識者会で話し合っている。基本設計が終わり、実施設計のところ。基本的には公園のようなイメージ。

臨時会

令和7年度琴平町一般会計補正予算（第3号）

補正額 900万円増額

定額減税補足給付金（不足額給付）支給事業費として、対象者が新たに約200人増える見込みとなった為、増額補正するもので、その全額が国費。

工事請負契約の締結について
契約金額

3億1680万円

琴平町立統合小学校及び統合認定

こども園（仮称）

建設工事に関する

敷地造成工事

の請負契約を締

結するにあたり

議会の議決を求

める。



議案の審議結果

令和7年第3回（8月）臨時会

議案番号	議案名	賛成	反対	採決結果	渡辺	寺岡	堀家	別所	吉田	豊嶋	森藤	山下	眞鍋	山神	議決月日
1	令和7年度琴平町一般会計補正予算（第3号）	8	0	可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	8/26
2	工事請負契約の締結について	7	1	可	—	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	8/26

※ 可…可決

※ ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 —…議長（議長は可否同数の場合のみ表決権があります。）

一般質問

一般質問の意義は
3つ!

行政の監視・政策提案・情報共有

発言 順序	議 員 名	質 問 事 項	掲 載 ページ
1	ほり け まさ のぶ 堀 家 正 信	① 魅力ある琴平町の創造 ② 二地域居住等施策推進	P 6
2	べっ しょ やす し 別 所 保 志	① 給食費を無償化 ② 町内の防犯灯の電気代は	P 6
3	よし だ しん じ 吉 田 親 司	① 高付加価値デジタル資産「非代替性トークン（NFT）」を 販売するプラットホームを構築する事業について 2 四国こんぴら歌舞伎大芝居公演について	P 7
4	やま がみ たけし 山 神 猛	1 琴平中学校工事について ② 金丸座火災報知器取り付け工事費について	P 7
5	ま なべ かず お 眞 鍋 籌 男	1 琴平町役場（庁舎）は新築にして下さい。 2 その他の建物、社協、教育委員会、シルバー人材センター・ 育成センター、図書館等は、どうするつもりですか。 3 琴平中学校建設の総費用はいくらか。 〈すべてです〉その返済方法は、又、自己資金は。業者名 もすべて…今後の琴中の生徒数は… 4 旭社はその後どうなっているのか。 ⑤ 大型スーパーが琴平町より撤退しない為に、町はその後、 何をしたのか。 6 琴平の町並みを残そう。	P 8
6	てら おか い よ 寺 岡 伊 代	① 避難所運営ゲームHUGと宿泊型避難訓練 ② 熱中症特別警戒アラートへの対応	P 8
7	もり とう やす お 森 藤 泰 生	① 地域のお祭りと自治体の連携 ② 災害時における職員被災シミュレーション	P 9
8	とよ しま こう ぞう 豊 嶋 浩 三	① 弥生時代の土器・住居跡が初めて琴平町内から出土に ついて ② 自治会活動が人口減少等により存亡の危機となっている所 が急速に増加している事について 3 町内防災組織があまり増加しない状況について 4 少子化・人口減少等の対策を考える上で、奈義町研修結果 を踏まえて考察する	P 9

※次ページ以降に掲載されている内容に関する表題を口で囲んで太字にしています。

会議録もご覧ください

議会だよりでは、紙面の都合により内容を要約してお伝えしています。質疑・答弁の詳細は、会議録に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。会議録は町ホームページ内、議会欄、会議録検索システムでご覧になれます。

琴平町議会

検索



傍聴に来ませんか？

会議の当日、役場3階東側通路にて傍聴人受付票にご記入いただき、受付箱に投函後、4階傍聴席入口よりご入場ください。

12月定例会は
12月5日 **金**の開会予定です。



堀家 正信 議員

魅力ある琴平町の創造

「小さくてもみんなが笑顔で幸せを感じる町」の未来を創造するために一緒に考えたい。



問 こども園・小学校の開校に向けた魅力度の発信！小さな町のメリットを活かすため、今後の情報発信と共有を問う。

答 子ども議会でも、高校生に対する情報発信をして欲しいとの指摘もあり、学校再編は町にとって大きな転機である。3小学校区が一つになれるチャンス。複数のチャンネルで分かりやすく伝えていく。

問 岡山県奈義町視察で感じた衝撃と前を向く空気を 英語教育について問う。

答 外国人に対する垣根を下げていくことが重要。ふれあい、経験、体験を通じて慣れていく。そのためには外国語指導助手が大きな役割を果たす。「琴平中学校を卒業すれば英語で観光ガイドができる」までのレベルにあげることが理想。

問 琴平町の商業施設を再度問う。

答 住民生活に直接影響を及ぼすだけではなく、町全体の活気にも大きく関わる重要な事案であると認識している。担当者と電話や面会を重ねており本町の意向は事業者側に伝えている。



問 交通環境の更なる充実を。

答 高齢者の外出機会をいかに確保し、安全・安心と利便性を両立させるかは地域の生活の質を大きく左右する。日本版ライドシェアを含め、国や業界の動向を見ながら、二次交通対策を取り組む認識はある。

二地域居住等施策推進

問 現在の社会制度は「二地域居住」を前提としている。課題もあるが、手を挙げている自治体も出てきている。琴平町の考えを問う。

答 琴平町のような観光地にとって、観光客でも完全移住者でもない、関係人口を増やす有効な手段として注目している。先進自治体の事例を調査研究し、琴平町の特性に合った推進策を検討していく。



別所 保志 議員

給食費を無償化

給食時間を活用した栄養士による「食育」の実施を提案する。食材やアレルギーへの理解を深め、保護者も参加できる食会とすることで、健康意識向上につながるのではないか。

問 丸亀市では令和5年4月から小・中学校の給食費を完全無償化している。これは、保護者の経済的負担の軽減や教育格差の是正、未納問題の解消を目的とし、さらに「子育てしやすいまち」としての魅力を高め、人口減少対策にも資するものと考えている。ただし、人口減少の抑制には医療、住宅、保育、雇用など、他の子育て支援策との連携が重要である。幼児期からの生活習慣の改善は健康維持につながり、食のうち一食でも栄養バランスの取れた給食は成長に欠かせない。そこで、

答 児童生徒の心身の健全な成長のためには、栄養バランスと質を確保した学校給食を提供することが重要と考えている。小中学校の給食費は年間約2,210万円であり、物価高騰に伴う保護者負担の軽減にも努めている。現在、各学校では栄養教諭が給食時間に放送を行いながら食育を進めており、また特設時間を設けて巡回指導を実施している。3小学校の統合を見据え、同様の指導を受けられる体制を整えており、今後も充実に努めてまいりたい。

町内の防犯灯の電気代

問 自治会加入者の減少により、電気代の負担が課題となり撤去例も見られる。通学路の安全確保のため街路灯の整備は不可欠であるが、農作物や生活環境への影響も考慮し、照度や設置位置を工夫するなど地域実情に応じた対応を求める。

答 現在、防犯灯や街路灯の設置場所を住宅地図にマーキングし、種別や費用負担の区分を台帳化している。これらは安心・安全なまちづくりや自治会の在り方を検討する上で重要であり、ご指摘も踏まえ、近隣市町の事例を参考にしながら、今後の検討を進めていく。



吉田 親司 議員

高付加価値デジタル資産「非代替性トークン（NFT）」を販売するプラットフォームを構築する事業について

問 本年6月議会にて国庫支出金、新しい地方経済・生活環境創生交付金（TYPEV）1073万3千円に一般財源536万7千円を加え、地方創生推進事業費として1610万円を計上した高付加価値デジタル資産「非代替性トークン（NFT）」を本町以下2自治体と共同調達団体となり、販売プラットフォームを構築し、特産品や文化

資源を国内外へ発信することで、新たな収益を確保し、地域の財政基盤が強化され、行政サービスの質の向上と住民生活の満足度向上を目指すものであると言っていた。私はこの6月補正予算には反対した。なぜなら今後、統合小学校の建設、こども園の1園化、庁舎の改修改築等、足元で必要なハード事業での資金が必要となることが分かりきっているにもかかわらず、国の補助金があるからとか3年間の事業だからとか、委託事業者任せのあいまいな計画に乗ってスタートする事業とは思えないからである。もう少し先を見て大切なお金の使い道を慎重に考えてもらいたい。

答 予算配分について、どこにどうつけるかというところにあると思うが、言われるように、たしかにこの事業に取り組むにあたっていわゆるメリット面とデメリット、リスク面も含めて検討したわけではあるが、完全なノーリスクではない、私としてはこれがうまくいくかどうかは、これからの商品開発等々に絡んでくるものなので、リスクが少ない中でこういったことに取り組んで、少しでも町の財源として獲得できるように鋭意努力したいと考えているのでよろしくお願いしたい。



山神 猛 議員

金丸座火災報知器取り付け工事費について

問 3社から競争見積もりでとった金額を20%カットしている理由を示せ。

問 競争見積もりで取った金額が高いからと言って、公益財団法人文化財建造物保存技術協会（以下「文建協」という。）がカットした理由を示せ。

答 町が設計したわけではなく、文建協が設計したものである。

問 火災報知器の同じ機種、同品番の製品の色が変わるだけで価格が10倍になっている理由を示せ。

答 重要文化財の耐震対策工事という特殊性もあり、設計は文建協に依頼し、文化庁の指導を受けながら行っているので、設計金額は適正であると考えてる。

問 火災報知器1台当たり7040円×42台、29万5680円が同じ商品で色が違うだけで1台当たり7万1040円、×17台120万7680円になるのか。

答 文建協の指導を受けながらやっている。

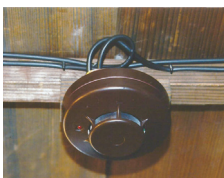
問 火災報知器の取り付け工事代について。火災報知器の工事は簡単な取り付け工事であり、わずか5分くらいでできる工事、1台当たり2万7600円は高い。

問 工事終了後の立会検査を3回も行っている。

消防検査のほかに社内検査に100万円あまりの費用は必要ないと思われるが。

答 仲多度南部消防組合の消防検査に合格する必要があるので調整試験として施工会社が動作確認の試験を行った。

問 竣工検査として一番権威があるのは消防検査である。その消防検査における事前検査として自社試験を行うのは当然、自社で行うのになぜ1回あたり54万7200円合計109万4400円も支払うのか、社内検査であり費用は掛からない。（予算の消化をしただけのこと。）



1台 71,040円は高い。



眞鍋 籌男 議員

大型スーパーが琴平町より撤退しない為に、町はその後、何を

問 大型スーパーが琴平

町より撤退しないために、町はその後、何をしていたのか。

六月議会で私の質問に対して町長は「もし現実になそのような事態になつてしまえば町自体が衰退していくことは容易に想像できる。先方の意見を伺いながら、可能な限り協力していく。現在、事業者側と面談すべく連絡を取っていて、日程等の

調整がつけば早急に訪問する」と答弁しているが、その後先方側との連絡は取れたのか。

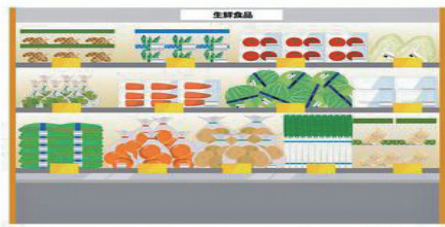
答 やつぱり会社が大きいのでその部門の担当の方とは、このやり取りについてはしている。

この件については本部の上層部の方にも伝わっていると確認している。

本町にとって、買い物は住民が日々の暮らしを営む上で最も身近で大切な生活インフラの一つであり、町の生命線である。六月議会の終了後、直ちに事業者側の本部関係者と面談すべく、担当者調整を依頼した。担当の方とは電話や面会を重ねており、本町の意向は

事業者側には、十分に伝わっていることは確認している。

現在の店舗が老朽化しており、現状で営業を継続するのは、なかなか難しいということは伺っている。



避難所運営ゲームHUGと宿泊型避難訓練



寺岡 伊代 議員

問 避難所運営ゲームHUGを利用し、避難所運営の課題を洗い出す訓練を実施する考えは。

答 避難所運営ゲームHUGは、2007年に静岡県危機管理庁が企画開発した防災カードゲーム。避難所運営を体感できる訓練手段として、多くの自治体や自主防災組織、企業、学校等で取り上げられ、東日本大震災や熊本地震の際に有意義であったという事例もあり、今後の防災訓練の一つとして検討すべき。

問 琴平町独自に、避難所運営マニュアルは作成されているか。

答 素案はあるが、まだできていない。地域の人を巻き込んで避難所運営マニュアルづくりをすることも今後は考えないといけない。

問 町内の各所に備蓄してある資材の種類や数の情報は、地域の人と共有することは可能か。

答 早急に琴平町のホームページにて公表する。



熱中症特別警戒アラートへの対応

問 熱中症特別警戒アラート発表時、県の方針に準

じ、児童生徒の登下校時の安全を最優先に考え、町立小中学校は臨時休校との対応を町は打ち出した。登下校時の安全が確保された場合、学校での滞在は可能か。

答 一人でも保護者の送迎が難しい状況であれば、公平性が担保されないため、学校での授業は難しく、臨時休業とするのが妥当であると考えます。

問 特別警戒アラートが出ている際、家でいたほうが安全と考える方もいる。学校は休校とし、送迎可能な家庭のみ、放課後子ども教室のように出席扱いにならない形で、学校で対応することは可能か。

答 いわゆる預かりは、責任等十分な協議が必要



森藤 泰生 議員



地域のお祭りと自治体の連携

問 地域祭礼存続の意義を示せ。

答 地域の伝統行事や民俗芸能等は地域にとっての礎であり、長い歴史の蓄積を通じて地域の独自性や主体性を形づくっている。これらを継承、また進行することは、文化振興と地域の活性化を推進する上で不可欠であり、次の世代へとその価値を伝える責任も出てくる。

問 8月以降、氏子祭り太鼓台運行について、部外者等によるトラブルを未然に抑止するため、琴平警察署と太鼓台世話人による話し合いが行われている。自治体もまた主催者と連携し、トラブルを抑止する姿勢を打ち出すべきではないか。

答 行政がどこまで関わるかについては、非常に難しいことについてはご理解いただきたい。

問 行政が宗教行事に中立であるのは当然だ。そのため、町は直接の祭祀には関与せず、地域社会の安全確保、文化振興、住民生活の支援という公共的な観点から協力をいただきたいと申し上げている。

答 行政が宗教行事に中立であるのは当然だ。そのため、町は直接の祭祀には関与せず、地域社会の安全確保、文化振興、住民生活の支援という公共的な観点から協力をいただきたいと申し上げている。

災害時における職員被災シミュレーション

問 能登半島地震、能登半島豪雨で被災した輪島市を視察した。琴平町において、地震等で役場庁舎が倒壊するなどして、自治体職員自身も被災者となった場合を想定した防災計画を示せ。

答 職員災害対応マニュアルを配付している。実際の避難所運営については、これまで十分でない。これについては取り組みなければならない。



弥生時代の土器・住宅跡が初めて琴平町内から出土について

問 出土した弥生時代の土器・住宅跡に名前をつけて琴平町指定の文化財とすべきではないのか。

答 統合小学校・認定こども園建設予定地で実施している埋蔵文化財の発掘調査は、古墳時代後期の堀立柱建物跡など江戸時代以前の苗田地区の様子をかいま見る事が出来る遺構・遺物が出土している。これらの埋蔵文化財包蔵地については、「苗田天神遺跡」として遺跡台帳及び遺跡地図に搭載、今後、開発事業者との調整により適切に保護処置を講じる。現時点では、記録保存処置が講じられることから、町指定の予定はない。



豊嶋 浩三 議員

自治会活動が人口減少等により存続の危機となっている所が急速に増加している事について

問 町内の自治会が107自治体まで減少している。自治会の活動に対する重要性をどの様に認識しているのか。

答 現在、自治会は107自治体まで減少しており、7月末現在で、常住人口における加入率は、54.3%となっている。これにより、地域力・地域連携力・コミュニティの低下が懸念される。自治会活動の重要なことは、

『日常生活の安全・安定を支える見守り活動』や『防災・減災の初動体制』の最重要点である事、『子育て支援や高齢者見守り支援体制』の最重要点である事など、地域の結束力の根本となるものである。すなわち、自治会活動の重要性は極めて高く、災害発災時の被害拡大を抑える重要な拠点となる。また、日常に於いても地域資源の結集に

も重要である。加えて、自治会は、町民の声を行政に届ける重要な窓口であり、地域の課題解決にも欠かせないものであると認識している。

問 『琴平町過疎地域持続的発展計画』の中で、地域社会のつながりや助け合いなどの相互扶助の力を再構築して、地域コミュニティシミュレーションを促進する為に、世代間を超えたコミュニティ形成を支援する事、あらゆる場所での相互扶助を可能にする環境づくりを行うとは。

答 この計画は、過疎法に基づく資金調達の為の計画であって、この計画によって事業を実行するものでなく、自治会が増えるものではない。

問 現状に於いて、自治会再生の施策はないと言う事なのか。

答 自治会が減少する事も含めて住民の判断である。

議会活動



● 奈義町視察

7月16日(金)

合計特殊出生率2.95の「奇跡のまち」として注目を集めた岡山県奈義町を視察。切れ目のない子育て支援や外国語指導助手 (ALT) を全国でもトップクラスの人員を配置、「子育て王国なご」宣言に基づく包括的な子育て支援に本気で取り組んでおり、小規模自治体としての成功例を学びました。



● 第29回未来の琴平町を考える子ども議会

8月27日(金)

第1部では、本会議同様、議場にて子ども議員の皆さんからの質問を受け、町長が答弁に立ちました。今回、初めて行われた第2部では、2チームに分かれて、議員に対し、子ども議員さんから直接質問を受けました。



● 第11回全国コンパクトタウン議会サミットin北島(徳島)

10月16日(金)

面積20km²以下で、合併を選択せずに自立しているまちが、全国から14自治体参加。徳島県川島町元最年少町長の中村健氏による基調講演後、①地域公共交通のあり方 ②大規模災害対策 ③人口動態に基づいた子育て支援の分科会に分かれて、意見交換会が行われました。



令和7年12月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5 9:30~ 本会議 (提案理由説明等)	6
7	8 9:30~ 本会議 (一般質問)	9 9:30~ 本会議 (一般質問)	10 9:30~ 総務産業経済常任委員会 (議案審査)	11 9:30~ 教育厚生常任委員会 (議案審査)	12 (休会)	13
14	15 (休会)	16 9:30~ 本会議 (委員長報告、採決等)	17	18	19	20



編集後記

「柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺」

正岡 子規

柿や栗のおいしい味覚の秋になりました。
皆さん、お変わりないでしょうか。

例年にならない猛暑も今では過ぎ去り、朝夕、涼しさを覚える今日この頃です。

今年の八月臨時会で、私は、「議会だより」編集の副委員長に選ばれ、挨拶をしました。

「私は、寺岡委員長を助け、議会だよりのより一層の充実に努めてまいります。」

(眞鍋 篤男)

発行責任者

議長 渡辺 信枝

議会広報編集特別委員会

委員長 寺岡 伊代
副委員長 眞鍋 篤男
委員 山神 猛
森藤 泰生
吉田 親司
堀家 正信

詳しくは議会事務局(☎75-6713)までお問い合わせください。

E-mail: gikaijimukyoku@town.kotohira.lg.jp